

馬場ひでゆきの活動日誌

No.55

2月27日の一般質問の続報です。今回は、中山間地域への移住者・新規就農者に対する支援についてです。

地域おこし協力隊を中山間地に

馬場 中山間地域の農業と地域社会の維持活性化を図るためには、県外から移住者を呼び込むことが重要だ、県が派遣する地域おこし協力隊を、極力中山間地域に配置すべきではないか。

知事 県は様々な広域課題の解

決に向けて県版地域おこし協力隊を導入している。これまで委嘱した16名の隊員のうち、半数の8名が中山間地を拠点として活動を展開している。引き続き、中山間地域を含む適切な地域への配置に努める。

新規就農者に支援を！

馬場 中山間地域の今後の農業と農村を守るためには新規就農者を呼び込み、その経営を安定させることが不可欠である。県は、中山間地域における新規就農者に対して、就農支援金の給付など特に手厚い措置を講じるべきではないか。

知事 新規就農者が将来展望をもって農業経営に取り組むためには、就農相談、営農の開始、経営発展まで一貫したサポートが重要、特に、中山間地域は生産条件が厳しく、人材の確保・育成が厳しいと認識している。

県は、農地や住宅の情報提供や就農前後の資金支援、就農前から経営確率までの技術指導、営農に必要な機械・施設の導入に対し、補助率をかさ上げして支援している。

加えて就農希望者の意向も確認しながら、雪や棚田などの地

域資源を活かした付加価値の高い農業や農業以外の仕事にも従事しながら所得を確保する取組への支援を通じて、中山間地域への新規就農者の確保・育成を図っていく。

鳴谷夫婦の話から生まれた質問

1月28日、吉川区の川谷地区で「たましぎ農園」を経営されている鳴谷（しぎたに）夫婦を訪問しました。

彼らは、東北大震災の翌年に同地区に移住し、先輩農家の指導を受けてその後に独立しました。自分たちが生活するためには限られた耕作地で年間300万円のお米を売り上げる必要がある、そのために1キロのお米を600円で販売



川谷からの帰り道。青空が広がってました。

中山間地農業を守ろう！

新規就農者へ手厚い措置を

4月16～18日臨時議会！

原発再稼働の是非を県民投票で決めるための条例制定を求める署名が15万筆集まりました。この条例案が4月16日～18日開催の臨時議会で審議されることになりました。私も質問に立ちます。大勢の県民の思いを決して無駄にすることなく私も最後まで頑張ります。お時間のある方はぜひ傍聴に来てください。



ネットでも視聴できます

当日は県議会のホームページの「インターネット中継」からご視聴できます。後日、録画を見ることが可能です。是非ご覧ください。

県政の動きあれこれ

することを計画し、農協に頼らず、家族親戚、知人の方々の間で販売契約を交わして彼ら独自の直販体制を作りました。そして、野菜も栽培して近郊の直販所で売って収入を得る、中山間地直接支払い交付金などをも得て生活を確立しました。

彼らの定住は、地域の住民に希望を与え、新たな移住者を迎えました。昨年からは休耕地を利用して移住者や地域おこし協力隊が集団で耕作する組織を立ち上げました。

彼らのような移住者が増えて経験伝えていけば、日本の農業は再生する、そんな思いで質問を作りました（嶋谷夫婦の楽しいお話は後日ご報告します）。

トキエア仙台線が運休

トキエアは、現在週4日運行している新潟―仙台線を3月30日から運休すると発表しました（新潟日報2月28日付）。

トキエアの問題点については、私の活動日誌49号で報告しました。県は、トキエアに多額の財政援助をしています。従前以上に動向を注視する必要があります。

松代病院が無床診療所？

県が県立松代病院（十日町市

松代地区）の規模を縮小し、2026年4月をめどに入院機能のない無床の診療所にする方向で検討していることがわかりました（新潟日報3月6日付）。

県内13病院を運営する県病院局は昨年、24年度決算が過去最悪となる43億円の赤字見込みで資金枯渇の恐れがある旨指摘していました。今後は、他の過疎地域病院についても、合理化案が提案されるのではないかと考えられます。人口減少による合理化が避けられないとしても、地域住民との対話を尽くしてほしいと考えます。

県議会、工務庁長官ら参事人質疑行つ、疑問続出

3月14日、県議会は、経済産業省資源エネルギー庁の村瀬長官ら政府関係者を参考人招致し、質疑を行いました。

私も質問に立ち、①地震と原発事故が同時に発生した場合の避難計画に実効性はないのでは？②屋内退避の際の被ばく量の程度は受忍限度を超えるのでは？③原発が動けば電気料金が安くなるのか？と質問をしました。数日間で質問を準備しなければならず、しかも最後の質問者だったのも、他の議員の質問と重複しないようにしました。僅か10分の時間でしたが、疲れしました。詳細は、後日報告します。

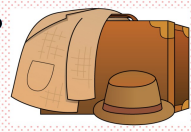
「秀幸、手伝え！父の遺産」

わかりにくいかもしれませんが、写真は、我が家の窓の囲い板。屋根から落下した雪でガラス窓が壊れないように窓の外に取り付けます。例年、秋が終わる頃にする雪囲い作業の一つです。

でも、最近は暖冬続き。今年は、雪も降らないだろうと思って囲い作業もしなかったら、2月になって突然の寒波。あわてて囲い板をはめて難を逃れました。

この囲い板、父の手作りでした。父は昨年他界しましたが、私は冬を迎える度に「秀幸、手伝え」と父に言われて、冬囲い作業を手伝わされました。

父は、自分が亡くなった後のことが心配だったのでしょう。私は父から指示されるのがイヤで、いつも仏頂面。父は私の顔をみて苦々しく思っていたはずですが、今年はこの囲い板に助けられました。父には感謝しています。雪もとけてきました。春がまたやってきます。



2月8日～3月14日

2月9日 日本共産党高田地区
後援会「新春のつどい」（ア
トホテル）

13日 牧区豪雪状況視察
15日 上越移住者交流会
15日 松之山で豪雪状況視察
17日 県議会・知事議案説明
18日 県議会・連合委員会
20日 県議会・代表質問
21日 県議会・一般質問
23日 市議上野公悦氏「新春の
集い」（頸城区希望館、左写真）
26日 県議会・一般質問



27日 県議会・一般質問（馬場が登壇しました）
3月1日 日本共産党中部地域
後援会「新春の集い」
3日 県議会・常任委員会
4日 県議会・常任委員会
5日 県議会・常任委員会
6日 県議会・常任委員会
7日 県議会・常任委員会
8日 県議会・常任委員会
9日 東城町で県政報告会
11日 県議会・連合委員会
12日 県議会・本会議
13日 県議会・連合委員会
14日 県議会・連合委員会（馬場、質問に立つ）

発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイヤパレス高田式番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-bahahideyuki@wind.ocn.ne.jp